

# 高退協ニュース

No. 188  
2014年  
5月13日  
発行  
高退協  
高知事務  
局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10号  
高知城ホール高教組気付  
連絡先 Tel. 088-822-6822  
郵便振替口座〇二六五〇二〇八九三

## 高退協定期総会 多様で熱い意見

### 憲法問題が課題の根幹

#### フレッシュな新事務局体制

森下 清二郎

38名の参加

2014年度の定期総会が4月26日(土)に開催されました。橋元副会長の総会司会のもとで、まず、井垣政利氏と岡林登志郎氏を議長に選出し開会しました。最初に、昨年度に逝去された9名の会員の方々に全員で黙とうをささげ冥福

2014年定期総会で挨拶する國松会長



を祈りました。次に、國松会長から情勢報告を中心とした開会あいさつがありました。そのなかで、秘密保護法や個別の自衛権の問題点、教育再編の反動性、消費増税やアベノミクスの欺瞞性等々について安倍内閣を厳しく批判し、微々たる力ではあるけれどもいろいろな立場や地域で頑張っているというように強く訴えました。さらに、竹島高教組委員長より、高校の再編問題や安倍内閣の教育再生に反対する取り組み等を中心に連帯のメッセージがありました。1号議案総括の質疑討論では、高退協ニュース187号の記事に対する質問や意見が出されやや紛糾しましたが、事務局の不手際を謝罪し今後十分に気を付けて編集することを確認しました。その他山原健二郎資料室の「友の会」活動についての話などがだされましたが、時間がなくやや尻切れトンボの状態で終わりました。

2号議案方針の質疑討論では、パソコンをうまく利用して高齢化に対処する視点を考えよう、高校の現場は本心に深刻である、高退協との懇談会を提案する、今までの経験をもとに人に伝えることが重要だ、助けようとするのではなく共に成長していくこと、発反運動だ、電力会社は電力を使わない運動も必要ないか、婦教の秘密保護法反対運動

の報告、老いたりといえども地域の公民館や自治会活動で頑張っていること、故窪田充治氏のありがとうの会について、民主主義より以上に基本的人権が大事だなどさまざまな熱い意見が出されました。採決では、決算報告、監査報告、予算案を含めて満場一致の拍手で承認されました。

3号議案では、新たな役員が提案・承認され平均年齢ぐつと若返ったフレッシュな事務局となりました。

4号議案では、規約改正案が提案され、今まで副会長2名であつたものが若干名に変更となりました。

その後、新旧役員の挨拶のあと橋元副会長の閉会あいさつで全日程を終了しました。総会参加者は38名で近年ずっと暫減傾向が続いています。

一年の計は総会にありの精神でより多くの会員の参加を期待しています。夜は、高教組主催の「退職者を励ます会」が開かれ、

退職者を励ます会で挨拶をする  
篠原・生野・澤田さん(左から)



### 2014年度役員体制

2013年度に役員をつとめられた國松勝さん、森下清二郎さん、梶原詳三さん、田所昌澄さん、笹岡富美さんが退任しました。

4月26日に開催された高退協総会で、次のように2014年度の役員体制が承認されました。

- 会長 倉橋楠雄
- 副会長 田中正 橋元陽一
- 事務局長 小松茂弘
- 事務局次長 武田豊 別役美佐
- 常任委員 三谷隆彦 小澤幸次郎 浜田りか
- 矢野元朗 松本縁 澤田桂子
- 監査委員 千葉繁之 西田令子
- 顧問 岡崎清恵 和田明 國松勝
- 役員選考委員 林応子 坂本敬子 鎌田伸一
- 小島真子 胡摩崎ゆう子

哀悼  
北村 昭さん 2月28日逝去  
富本 芙美子さん 3月15日逝去  
平野 日出男さん 4月4日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

# 高教組 今年度もよろしくお願いいたします！

高教組委員長 竹島久美

四月二十六日、高校・障害児学校教育センターと高教組の共催で、「高校再編を考える学習討論集会」を行いました。高校再編については、高教組としても方針を出しかねているのが実情ですが、高校・障害児学校教育センターの「高校再編振興計画の基本的考え方（案）」についての見解」がまとまりましたので、まずはそれをもとに学習、意見交換を行いました。

え子等対象者の情報がありましたら、ぜひお知らせください。執行部は、原仁さん（副委員長・貸対）・坂本智香さん（青年部）が退任され、新しく竹嶋昇吾さん（貸対）・小笠原春菜さん（青年部）を迎

全国的にも、教育委員会制度改悪反対など、安倍教育再生に立ち向かう闘いの真最中ですし、高教組として取り組まなければならぬ課題は多いですが、中でも組織拡大は緊急の課題です。お知り合い・教



3年間お世話をおかけしました。このたび退任することになりました。いま考えてみますとこの3年間は、まさに激動の時代でした。民主党政権は国民の期待を見事に裏切り、福島原発事故については、メルトダウンの実態や放射能汚染の実態、除染対策、震災復興対策など明らかにしないまま収束宣言を出すなど無責任極まりない政権でした。また、消費税増税、TPP推進など自公政権となんら変わらず国民に愛想を尽かされました。そして再登場した安倍自公政権は、いっそう右翼化し、平和憲法を亡きものにしようとして必死です。

## 退任あいさつ

國松 勝

今まさに日本の将来がかかった激しいせめぎ合いの時期です。「戦争のできる国」に向けその矛先を教育に向け、私たち先輩が蓄積してきた民主教育を否定し、教育勅語への復帰を押し付けようとしています。

高退協の役割は、今までもまして大きくなってきています。新しく確立された事務局体制は、今の情勢にふさわしく「若さあふれる」体制で大いに期待しています。

みなさんとともに平和と民主主義を貫くため、力を合わせ奮闘する決意です。どうもありがとうございます。

## 前会長から新会長へ

えました。米満敏孝さん（書記長・専従）・西内荘一さん（副委員長・事務職員部）・青木志保さん（副委員長・障害児学校部）・谷内康浩さん（共闘・書記次長）・古畑邦明さん（教文）・味元真紀さん（情宣）・井上千夏さん（女性部）は引き続きです。私も委員長二年目となります。今年度も高教組運動へのご協力・ご指導をよろしくお願いいたします。

## 盛大に第85回メーデー 開かれる

田中 正

「県民の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本と住みよい高知をめざそう」を基本スローガンに、晴天に恵まれた5月1日、労働者の祭典「メーデー」が、中央公園で開催されました。今年度は、安倍内閣の悪政

に歯止めをかけ退陣に追い込む世論と共同を広げるための総決起の場としての位置づけで開催され、主催者あいさつ、来賓あいさつ、参加労働組合からの決意表明でもそれぞれの分野から強調されています。高退協、教職員組合関係では、井垣さんが憲法懇談会代表として憲法と9条を守ることの重要性和安倍内閣の危険性を訴え、ともに戦うことを意思表明し、畑山高知県教組書記長からはブラッくな職場環境と教職員の早期退職、この間の病気休職の異常な増加との関連が訴えられました。その他、消費税増税、TPP、社会保障、賃上げ闘争、原発問題などへの戦う意思表明がされ、メーデー宣言を採択しました。その後参加者で中央公園から県庁を経て一周するデモ行進をしました。（デモ行進の長〜い隊列に、たくましさ信頼、感動しました）高退協からは20名、全体では27団体800名が参加した今年度のメーデー、とっても元気の出た、明日からの活動への展望と励ましのあった集会でした。

退職2年目の春の衝撃。錚々たる先輩達が居並ぶ中で、駆け出しの私が、高退協会長を引き受けることになりました。組織にとってプラスになるのか疑問符のつくところですが、新体制のもと精一杯働かせてもらいます。まず、最優先の課題は詭弁を弄する集団的自衛権容認と憲法改悪を阻止する活動です。会員の中には戦時を体験した方がいます。これは財産です。子どもたちの未来のために、歳六〇（ろくまる）から一〇〇までの潜在的オールドパワーを掘り起こし、高教組や民主団体と連帯しながら、多くの世代に共感を広げ、この危険な流れを食い止めたい。

## 新任あいさつ

倉橋 楠雄

私は北川村に柚子を作っています。安芸に入る手前の国道脇に、故山岡先生が残してくれた「九条は宝」の看板があります。これを見る度、「九条は絶対守らないから」という熱い思いがこみ上げてきて勇気をもらいます。この「思い」が燎火のごとく広がることを願っています。活動を力強く展開するためには、会員一人ひとりが、つながりを持つということが大切です。まずは、趣味やスポーツを通じて、会員間の交流を深めることができる環境を整えていきたいと考えています。

そして、私たちが望む、平和で心豊かに暮らせる民主的な社会の実現を目指して、我々の代表を是非とも来春、県議会に送り込みたいと思います。そのためには今からの応援活動が大切です。ご支援、ご協力をお願いします。私たちは、元気でしぶとく長生きし、時の権力者に煙たがれる存在であり続けましょう。会員の皆様、よろしくお祈りします。